

# 平成30年定例会 医療保健子ども福祉病院常任委員会

## 説明資料

### 《議案補充説明》

頁数

#### 1 【議案第125号】

医療法に基づく病院及び診療所の人員及び施設に関する基準等を定める

条例の一部を改正する条例案について . . . . . 1

### 《所管事項説明》

1 「平成30年版成果レポート（案）」について . . . . . 別冊

2 三重県動物愛護推進センター「あすまいる」の取組実績等について  
. . . . . 2

3 「麻しん」の発生予防について . . . . . 4

4 各種審議会等の審議状況の報告について . . . . . 6

### 《別冊》

・（別冊1）平成30年版成果レポート（案）〔医療保健部抜粋版〕

平成30年6月19日

医療保健部

# 1 医療法に基づく病院及び診療所の人員及び施設に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例案について

## 1 改正理由

医療法の一部改正に伴い、規定を整理するため、「医療法に基づく病院及び診療所の人員及び施設に関する基準等を定める条例」（以下「条例」という。）の一部を改正するものです。

## 2 改正内容

病院開設・増床の許可等の判断に用いる地域における既存病床数の算定基準のうち、介護老人保健施設にかかる補正の基準（省令により当分の間適用しないこととされていたもの）に関する医療法の規定が削除されたことに伴い、同規定に対応する条例の規定を削除します。

## 3 施行期日

公布の日

### 【参考：基準病床数制度について】

#### (1) 制度の目的

病床の整備について、病床過剰地域から非過剰地域へ誘導することを通じて、病床の地域的偏在を是正し、全国的に一定水準以上の医療を確保するものです。

#### (2) 制度の仕組み

「既存病床数」が「基準病床数」を超える地域では、原則として病床の新設又は増加が抑制されます。なお、「既存病床数」の算出にあたっては、一定の補正が行われます。（医療法第7条の2）

※基準病床数：医療提供体制のため必要とされる病床数で、医療計画策定の際、二次医療圏ごとの性別・年齢階級別人口、病床利用率等から算出します。（医療法第30条の4）

#### (3) 「既存病床数」の算出にあたっての補正

例えば、特定の患者のみが利用している職域病院等（労災病院、宮内庁病院、ハンセン病療養所等）の病床は、既存病床数の算定から除かれます。

「介護老人保健施設（医療と福祉の中間的な施設）」については、入所定員数に0.5を乗じて得た数を既存病床数に算定するとしながら（医療法施行令（省令）第30条の33）、当分の間適用しないこととされていましたが（省令附則第48条第1項）、この基準にかかる規定が医療法の改正により削除されました。

ただし、平成30年4月1日以降に療養病床を介護老人保健施設又は介護医療院に転換する場合は、次期医療計画の策定に際し基準病床数を算定するまでの間は、入所定員数を既存病床数に算定することとされています。（省令附則第48条第5項）

## 2 三重県動物愛護推進センター「あすまいる」の取組実績等について

### 1 三重県動物愛護推進センター「あすまいる」の取組実績について

三重県動物愛護推進センター（以下「あすまいる」という。）が、平成29年5月28日に開所してから、1年を迎えました。「あすまいる」では、「人と動物が安全・快適に共生できる社会」の実現に向けて、（公社）三重県獣医師会やボランティア団体等と連携し、動物愛護教室等の普及啓発活動や飼い主への終生飼養の指導等を行い、犬・猫の引取り数を減らす一方、譲渡を進める取組を行いました。

その結果、犬・猫の殺処分数（「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」の活動指標）は過去最少の138匹<sup>※1</sup>となり、平成35年度の殺処分ゼロに向けて大きく前進することができました。

※1：保健所に収容され、殺処分もしくは死亡した全ての犬・猫のうちから、生後間もない犬・猫や保護・引取りした時点の疾病や怪我が原因で死亡した犬・猫を除いた匹数

#### （1）来館者数 5,280名（2,406組）

開所前に施設とマスコットキャラクターの愛称募集や内覧会等を行い、県民の関心を高めるための広報活動を進め、昨年度5,280名（2,406組）の来館者を迎えることができました。特に開所した平成29年5月28日には、451名の方が来館されました。

#### （2）犬・猫の譲渡数

351匹（一般譲渡328匹、ボランティア団体譲渡23匹）

「あすまいる」開所までは、ボランティア団体を介した犬・猫の譲渡が中心でしたが、譲渡専用の施設ができたことから、飼い主となる方へ直接譲渡する一般譲渡の増加に向けて積極的に取り組みました。この結果、一般譲渡の昨年度実績は、県全体で336匹となり、平成28年度の79匹に比べて約4倍になりました。

「あすまいる」の実績（平成29年度）

	あすまいる	【参考】県全体
犬・猫の譲渡数	351匹(犬109、猫242)	480匹(犬134、猫346)
うち一般譲渡数	328匹(犬92、猫236)	336匹(犬93、猫243)
うちボランティア団体譲渡数	23匹(犬17、猫6)	144匹(犬41、猫103)

### (3) 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術数 1,142 匹 (うち耳カットのみ 10 匹)

TNR活動<sup>※2</sup>等にかかる飼い主のいない猫の不妊・去勢手術については、平成 26 年度から事業を進めています。昨年度は「あすまいる」を手術の拠点とすることにより、年間を通して計画的に手術を行うことができました。

この結果、「あすまいる」において1,142匹の手術を実施し、県全体では1,259匹となり、平成 28 年度の 369 匹に比べ、約 3 倍の数の手術を行うことができました。

なお、本年度第 1 回目の飼い主のいない猫の不妊・去勢手術を、5月16日、17日に(公財)どうぶつ基金等と連携して実施しました(142匹に手術実施(うち耳カットのみ2匹))。

今年度はクラウドファンディングにより、手術等に必要な費用の寄附を募り、さらに取組を進めていきます。

※2： 飼い主のいない猫を保護(Trap)し、不妊去勢手術(Neuter)を行い、元の場所に戻す(Return)活動

### (4) 動物愛護体験学習等 76 回 (参加者 1,180 名)

体験学習や動物愛護教室等を積極的に実施し、研修機能を備えた「あすまいる」において76回開催し、1,180名の方にご参加いただきました。

### (5) 開所 1 周年イベント

5月27日(日)に「あすまいる」開所1周年イベント『あすまいるチャレンジ』を開催しました。(公社)日本愛玩動物協会三重県支部の協力による「どうぶつクイズ」や「犬・猫のおもちゃ作り」等の体験コーナーを設け、313名(126組)の方にご来館いただきました。

なお、5月27日(日)から6月3日(日)までを1周年記念週間としていましたが(来館者にあすまいるオリジナル缶バッジをプレゼント)、この期間には、計723名(251組。上記『あすまいるチャレンジ』開催時の来館者を含む。)の方にご来館いただき、23匹(犬10匹、猫13匹)の譲渡の申込みがありました。

## 2 今後の取組について

「あすまいる」では引き続き、「県の動物愛護管理の拠点」として、3つの取組(殺処分数ゼロに向けた取組、災害時などの危機管理対応の取組、さまざまな主体との協創の取組)を充実させることにより、「人と動物が安全・快適に共生できる社会」の実現に向けて、動物愛護管理事業を着実に推進していきます。

### 3 「麻しん」の発生予防について

#### 1 「麻しん」について

麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。ウイルスは空気感染し、その感染力は極めて強いものです。

先進国であっても麻しん患者は、約1,000人に1人の割合で死亡する可能性があり、わが国においても平成12年前後の流行時には年間約20～30人が死亡していました。

唯一有効な予防法は、ワクチンの接種によって麻しんに対する免疫を獲得することであり、2回のワクチン接種により、発症リスクを最小限に抑えることが期待できます。

#### 2 「麻しん」の発生状況について

平成19年、20年に10代から20代を中心に大きな流行がみられましたが、麻しんワクチン接種等により、平成21年以降10代から20代の患者数は激減しました。

平成27年3月27日付けで、世界保健機関西太平洋地域事務局により、日本が麻しんの排除状態にあることが認定されましたが、その後も、海外で感染した患者を発端とした国内での感染事例が見られています。

本年3月以降、海外からの輸入症例を契機として、沖縄県で麻しん患者が増加しており、その後、他県においても感染者が発生しています。

近県では愛知県内で25人の患者発生があり、その内の1人は桑名市在住の方でしたが、現在のところ、これ以外に患者発生はありません。

#### 《全国の麻しん患者発生状況》

(平成30年1月1日～5月23日)

都道府県名	患者発生人数
沖縄県	88人
愛知県	25人
福岡県	17人
東京都	11人
埼玉県	6人
その他	15人
計	162人

### 3 ワクチン接種の状況について

麻疹定期予防接種の対象は、第1期が1歳児、第2期が就学前1年間の児童で、本県の接種率は、平成28年度統計で第1期が98.9%（全国第7位）、第2期が94.3%（全国17位）です。

なお、20歳代後半までは定期接種2回の世代ですが、20歳代後半から40歳代半ばまでは1回接種、40歳代半ば以降は任意接種の世代です。

### 4 今後の対応について

県では、ホームページ、報道機関への資料提供等により、感染予防の啓発を行うとともに、市町や医師会等の関係機関と情報共有を行い、各団体での啓発を推進しています。

定期予防接種対象児には1期・2期における接種率が95%以上となるよう市町に働きかけており、市町では、未接種児に対する個別勧奨や、幼稚園・保育所を通じた広報に取り組んでいます。また、2回接種をしていない大人の方には、予防接種を検討するよう広報しています。

今後も引き続き、県民への啓発、関係団体等との情報共有を行い、それぞれの立場で、感染予防に向けた取組が進むよう働きかけていきます。

**海外に行く方へ**

麻疹(はしか)にかかったことが明らかでない場合

世界には麻疹が流行している国・地域があります。

【海外に行く前に】  
麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討してください。

【帰国した後】  
帰国後2週間程度は健康状態に注意しましょう。

**麻疹とは**

**感染経路**  
麻疹ウイルスは感染力が非常に強く、簡単に人から人に感染します。麻疹の発症が不十分な人が感染すると、高い確率で発症します。

**症状**  
高い熱や全身の発しん、せき、鼻水、目の充血などの症状が出ます。透視中あるいは帰国直後に症状がなくても、1週間以上たつてから発症する場合があります。

**予防のために**  
海外に行く前に、麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認し、2回接種していない場合には予防接種を検討してください。また、麻疹にかかったかどうかやワクチン接種歴が不明の場合は抗体検査を検討してください。

みんなで目指そう  
**『麻疹がゼロ』**

麻疹(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に  
麻疹の予防接種歴を母子手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討してください。

↑厚生労働省の啓発用リーフレット

#### 4 各種審議会等の審議状況の報告について

(平成30年2月19日～平成30年6月3日)

(医療保健部)

1 審議会等の名称	三重県脳卒中医療福祉連携懇話会
2 開催年月日	平成30年2月19日
3 委員	座長 富本 秀和 委員 諸岡 芳人 他10名
4 諮問事項	1 第7次三重県医療計画における脳卒中対策（最終案）について 2 三重の健康づくり基本計画「ヘルシーピープルみえ・21」中間評価報告書（最終案）について
5 調査審議結果	1 第7次三重県医療計画における脳卒中対策（最終案）について説明し、協議を行った。 2 三重の健康づくり基本計画「ヘルシーピープルみえ・21」中間評価報告書（最終案）について説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県在宅医療推進懇話会
2 開催年月日	平成30年2月20日
3 委員	座長 志田 幸雄 委員 石淵 幹人 他13名
4 諮問事項	1 「第7次三重県医療計画」在宅医療対策の最終案（案）について 2 「第7次三重県医療計画」小児救急を含む小児医療対策最終案（案）における小児在宅医療について 3 平成29年度在宅医療対策の進捗状況について 4 在宅医療フレームワークについて
5 調査審議結果	上記について説明を行った上で、意見交換を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	津地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年2月21日
3 委員	議長 浦和 健人 委員 上野 利通 他13名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて津区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 病床機能の転換について 6 在宅医療体制の整備について 7 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 8 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	第3回三重県精神保健福祉審議会
2 開催年月日	平成30年2月21日
3 委員	会長 齋藤 純一 委員 齋藤 洋一 他14名
4 諮問事項	1 第7次三重県医療計画（精神医療関連分）最終案について 2 三重県アルコール健康障害対策推進部会の開催報告について 3 みえ障がい者共生社会づくりプラン（2018年度～2020年度） にかかる精神保健福祉関連分報告 4 平成29年度精神保健福祉施策の取組状況について
5 調査審議結果	上記の事項について報告を行うとともに、意見交換を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県がん対策推進協議会 がん登録事業運営部会
2 開催年月日	平成30年2月22日
3 委員	会長 白石 泰三 委員 笠島 茂 他7名
4 諮問事項	1 三重県地域がん登録の予後情報の提供について 2 三重県地域がん登録情報の利用について 3 全国がん登録 三重県がん情報管理要領（案）について
5 調査審議結果	1 三重県地域がん登録の予後情報の提供について説明し、協議を行った。 2 三重県地域がん登録情報の利用について説明し、協議を行った。 3 全国がん登録 三重県がん情報管理要領（案）について説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会 医療法人部会
2 開催年月日	平成30年2月23日
3 委員	部会長 青木 重孝 委員 田所 泰 他3名
4 諮問事項	医療法人設立等について
5 調査審議結果	申請のあった医療法人の設立等について、すべて承認された。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会 地域医療対策部会
2 開催年月日	平成30年2月23日
3 委員	部会長 伊藤 正明 委員 青木 重孝 他7名
4 諮問事項	1 三重県保健医療計画（第5次改訂）の評価について 2 次期医療計画「へき地医療対策」の最終案について 3 次期医療計画「医師確保対策」の最終案について 4 医師偏在対策に向けた医療法等の改正について
5 調査審議結果	1 三重県保健医療計画（第5次改訂）の取組実績及び評価について説明し、承認を得た。 2 次期医療計画「へき地医療対策」及び「医師確保対策」の最終案について説明し、承認を得た。 3 医師偏在対策に向けた医療法等の改正について報告を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会 救急医療部会
2 開催年月日	平成30年2月23日
3 委員	会 長 橋上 裕 委 員 田中 孝幸 他8名
4 諮問事項	1 三重県保健医療計画（第5次改訂）の評価について 2 第7次三重県医療計画（最終案）について
5 調査審議結果	第7次三重県医療計画（最終案）について説明し、承認を得た。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会 周産期医療部会
2 開催年月日	平成30年2月26日
3 委員	会 長 池田 智明 委 員 二井 栄 他15名
4 諮問事項	1 三重県保健医療計画（第5次改訂）の評価について 2 第7次三重県医療計画（最終案）について
5 調査審議結果	第7次三重県医療計画（最終案）について説明し、承認を得た。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県介護保険審査会
2 開催年月日	平成30年2月26日
3 委員	議 長 曾我 俊彦 委 員 辻井 夕美子 他1名
4 諮問事項	介護保険法に規定する審査請求について
5 調査審議結果	保険給付に関する処分の妥当性等について審議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	鈴亀地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年2月27日
3 委員	議長 西城 英郎 委員 落合 仁 他10名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて鈴亀構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	東紀州地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年3月1日
3 委員	議長 長谷川 陽 委員 谷口 智行 他15名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて東紀州構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	伊賀地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年3月2日
3 委員	議長 馬岡 晋 委員 清水 雄三 他12名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて伊賀構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県准看護師試験委員会
2 開催年月日	平成30年3月2日
3 委員	委員長 他10名（試験問題の作成に関わるため、委員氏名は非公開）
4 諮問事項	准看護師試験の不適切問題の確認と合格基準の審議を行い、合格者を決定した。
5 調査審議結果	不適切問題はなく、受験者182名のうち合格者181名を決定した。
6 備考	

1 審議会等の名称	松阪地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年3月6日
3 委員	議長 野呂 純一 委員 石田 亘宏 他16名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて松阪構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	公衆衛生審議会 感染症部会
2 開催年月日	平成30年3月7日
3 委員	部会長 田辺 正樹 委員 橋上 裕 他5名
4 諮問事項	三重県の結核対策について
5 調査審議結果	結核（モデル）病床の現状と課題について検討を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	桑員地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年3月9日
3 委員	議長 青木 大五 委員 桑原 浩 他14名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて桑員構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三泗地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年3月12日
3 委員	議長 加藤 尚久 委員 片岡 紀和 他13名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて三泗構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	伊勢志摩地域医療構想調整会議
2 開催年月日	平成30年3月16日
3 委員	議長 永井 正高 委員 日比 秀夫 他13名
4 諮問事項	1 地域医療構想の実現に向けた考え方について 2 地域医療構想の実現に向けて伊勢志摩構想区域で検討が必要な項目について 3 新公立病院改革プラン及び公的医療機関等2025プランについて 4 地域医療構想をふまえた2025年に向けた各医療機関の役割について 5 在宅医療体制の整備について 6 平成30年度地域医療構想調整会議の進め方について 7 第7次三重県医療計画について
5 調査審議結果	地域医療構想をふまえ、2025年に向けた公立・公的等医療機関の役割、在宅医療体制の整備状況、平成30年度における地域医療構想調整会議の進め方等について県から説明し、協議を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県医療審議会
2 開催年月日	平成30年3月19日
3 委員	会長 駒田 美弘 委員 青木 重孝 他11名
4 諮問事項	1 第7次三重県医療計画（最終案）について 2 三重県保健医療計画（第5次改訂）の評価について 3 部会報告 4 三重県地域医療構想の進捗状況について
5 調査審議結果	1 第7次三重県医療計画（最終案）について説明し、承認を得た。 2 5疾病・5事業及び在宅医療対策に係る目標の達成状況、取組等について説明し、意見交換を行った。 3 平成29年度における各部会の開催実績等の報告を行った。 4 三重県地域医療構想の進捗状況について報告を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県精神保健福祉審議会 精神科救急医療システム検討部会
2 開催年月日	平成30年3月27日
3 委員	会 長 齋藤 純一 委 員 藤田 康平 他7名
4 諮問事項	1 精神科救急医療システム実績報告及び措置通報等実績報告 2 措置入院の運用に関するガイドライン（案）について 3 精神科救急と一般救急の連携にかかる具体的手法について 4 精神科救急医療システムの課題について
5 調査審議結果	上記の事項について報告を行うとともに、意見交換を行った。
6 備考	

1 審議会等の名称	三重県介護保険審査会
2 開催年月日	平成30年5月29日
3 委員	議 長 志田 幸雄 委 員 丸橋 恒子 他1名
4 諮問事項	介護保険法に規定する審査請求について
5 調査審議結果	保険給付に関する処分の妥当性等について審議を行った。
6 備考	